

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000044
事業所名	グループホーム 喜寿苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し積極的に地域の草取りや防災訓練、祭礼などに参加している。事業所主催の夏祭りには、毎年大勢の地域の方が集い、入居者と一緒に交流する機会としている。下校時の地域の子どもの見守隊や学童の居場所としての「エミッ子広場」の開催、定期的な「めくといカフェ」の開催など地域のコミュニティとしての役割を担っている。ボランティアによる踊りや楽器の演奏、保育園児との交流、小中学校の運動会や学芸会の参加、力士の慰問など、地域に住む人たちとふれあう機会を大切にしている。専門学生の介護実習も受け入れ、高齢者を地域で支え合うことの大切さを学ぶ場の提供をしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 正副自治会長、民生委員、地域包括センター職員、寿宝会職員の参加を得て年6回実施している。入居者の生活の様子や行事の報告、事故報告や対応、また、熱中症や感染症、防災や防犯、イベントなどについて参加者と積極的な話し合いが行われ有意義な会議としている。参加者からの情報や意見、提案等はその場で話し合い記録をして、会議などで協議しサービスの向上に活かしている。家族には、毎回会議案内や議事録を郵送しているが参加が思わしくないため方法を検討している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 担当窓口には、認定書類や申請の代行業務などで出向き、活動報告やサービスの内容などを伝え、良好な協力関係を築いている。地域包括とは入居者の状況や地域の困難事例の相談など、必要に応じ連絡を取り情報交換をしている。グループホーム協議会の主催する「グループホーム合同作品展」や「輪投げ大会」、研修会など積極的に参加をしてサービスの向上に活かしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聴き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からは面会時や家族会、行事の折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立っている。毎年、接遇やサービス内容、施設の環境などについて家族アンケートを実施し、内容を分析してサービスの向上に役立っている。意見箱を設置し意見を述べやすい環境を整えている。入居者の日々の様子を記載したグループホーム便りを毎月発行して家族に安心を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○